

太宰府市 スポーツ推進計画

2021 - 2030



令和3年3月

ごあいさつ



太宰府市教育委員会
教育長 樋田 京子

この度、これまでのスポーツ推進施策の成果や社会情勢の変化を踏まえ、「太宰府市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

スポーツは、市民一人ひとりが生涯を通じ、健康づくりや地域づくりなどを進めるうえで欠かせないものであり、様々な活動を通じて人と人とがふれあい、豊かで明るいまちづくりを進めるうえでも重要な役割を担っています。

本計画では、“太宰府市スポーツ文化の創造”を基本理念に、「健康づくり」、「人づくり」、「環境づくり」、「地域づくり」の4つの目標を掲げ、今後10年間、具体的施策に取り組むこととしておりますので、皆様のご支援をよろしく願います。

終わりに、本計画の策定にあたりご尽力をいただきました太宰府市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、アンケートにご協力をいただいた多くの市民の皆様、関係機関ならびに関係団体の方々に対しまして、心より感謝申し上げます。



太宰府市
市長 楠田 大蔵

日頃より太宰府市の市政運営ならびにスポーツ行政にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、これまでのスポーツ推進施策の成果や社会情勢の変化を踏まえ、「太宰府市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

スポーツは、心身の健康の保持増進だけでなく、地域交流の促進、社会の活力創出、国際交流など多くの分野で重要な役割を果たします。

この新たな計画を通じ、市民の誰もがスポーツに親しみ交流の輪を広げることで、令和発祥の都太宰府市のスポーツ文化の創造を目指します。

コロナ禍のなか、公共施設の利用制限などご不便をおかけしておりますが、今こそスポーツの力を結集し、この危機を乗り越えて参りましょう。

結びに、本計画の策定にご尽力いただきました皆様に感謝の意を表しまして、私の祝辞といたします。

目 次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	1
2 前計画の成果と課題	1
3 スポーツとは	3
4 計画の位置づけ	4
5 計画の期間	5
第2章 基本構想	6
1 基本理念	6
2 基本目標	6
3 施策の体系	8
4 本計画の指標	9
第3章 基本目標ごとの施策	10
基本目標Ⅰ スポーツを通じた健康づくり	10
基本目標Ⅱ スポーツを支える人づくり	16
基本目標Ⅲ スポーツを支える環境づくり	23
基本目標Ⅳ スポーツを通じた地域づくり	29

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

本市は、平成22年3月に「太宰府市スポーツ振興基本計画」を策定し、～いきいきとしたスポーツライフの創造～を基本理念として、様々なスポーツ施策を推進してきました。

この間、国においては、これまでの「スポーツ振興法」を全面改正し、平成23年8月に「スポーツ基本法^{*1}」を施行し、これに伴い平成24年3月に「スポーツ基本計画」（計画期間：平成24～28年度）を策定し、さらに平成29年3月に「第2期スポーツ基本計画」（計画期間：平成29～令和3年度）を策定しています。

「第2期スポーツ基本計画」では、スポーツの主役は、国民及び国民に直接スポーツ機会を提供するスポーツ団体等であるとし、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となって施策を推進していくことが必要であるとしています。

また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大し、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとし、活力ある社会と絆の強い世界を創ることを目指しています。

福岡県では、国の第1期の「スポーツ基本計画」を受けて、平成26年3月に「誰もが気軽にスポーツに親しむ環境の整備とスポーツをとおした元気で活力のある県民生活や地域社会の創造」を基本理念とした「福岡県スポーツ推進計画」を策定しています。

本市の現行計画は令和元年度で計画期間を満了したことから、これまでのスポーツ推進施策の成果や社会情勢の変化を踏まえ、新たに「太宰府市スポーツ推進計画」を策定します。

2 前計画の成果と課題

【地域スポーツ】

○成果

市民のニーズに即応した地域における運動・スポーツの普及、地域のスポーツ活動を支える人づくりの推進、スポーツ普及のための組織づくり、地域における生涯スポーツコミュニティの構築により、子どもから高齢者まで、誰もがライフステージ^{*2}に適した運動・スポーツを気軽に親しみ、健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりができる「生涯スポーツライフの実現」を図る各種事業を開催しました。

●課題

アンケート調査から、成人の週1回以上のスポーツ実施率は約45%程度にとどまり、目標値の50%以上に至りませんでした。スポーツ未実施率の高い世代への新たなアプローチ、福祉部門との連携による高齢者スポーツなど今後もライフステージに応じた対策が必要です。また、スポーツ振興の推進役としてスポーツ推進委員^{*3}におけるスポーツ実施率の低い世代などに対する地域事業への参加支援等が求められています。

【競技スポーツ】

○成果

地域における競技スポーツの普及やスポーツ組織の育成のために、スポーツ協会が中心的に役割を担い、指導者の資質向上、選手の競技力向上に向けた講習会や教室の開催、県民体育大会参加者への支援を行いました。競技力の向上に伴い、多くの競技大会等で選手が優秀な成績を収めたことなどから表彰制度の創設を行うなど、競技スポーツ環境の充実を図りました。

●課題

競技力向上とスポーツの関心を高めるため、レベルの高いスポーツに触れる機会の創出、プロスポーツ等の誘致・開催による観るスポーツの促進が求められています。

スポーツ協会加盟登録者は減少傾向にあることや、県民体育大会参加競技数及び参加種目数が目標値を下回っていることから、更なる競技力向上とスポーツ協会の組織の充実が求められています。

【青少年スポーツ】

○成果

本市の子どもたちの体力や運動能力は全国平均に満たない子どもの割合が高いことから、学校において体力向上プランの取組を行いました。また学校と地域が連携し、スポーツを通じて青少年の「からだ」と「こころ」の健全育成を図りました。

さらに、スポーツ少年団では、青少年の健全育成を目的とした交流事業を中心に活動を行いました。

●課題

本市の小・中学校体力総合平均値と全国平均値との比較では、男女ともに小学生全学年が全国平均値を下回り、中学生は上回る結果となっています。また、運動する子どもと運動しない子どもの二極化により、体力格差が拡大していることから、まったく運動の機会を持っていない子どもへの対策が求められています。

スポーツ少年団のクラブ数、団員数、指導者数が減少傾向にあるなかで、機会の確保、指導者の育成、子どもの健全育成に取り組むため、地域・学校・行政の連携によるスポーツ少年団の育成が求められています。

※1 スポーツ基本法：昭和36年に制定された「スポーツ振興法」を50年ぶりに全部改正（平成23年）し、スポーツに関し基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるもの。

※2 ライフステージ：人の生涯における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階のこと。就学・就職・結婚・出産・子育て・退職などその時期における生き方や生活の仕方などを考えるときに区分される場合もある。

※3 スポーツ推進委員：スポーツ基本法で規定されている公的な社会体育指導者のことであり、スポーツの推進のための活動を行う任期2年の非常勤公務員。

3 スポーツとは

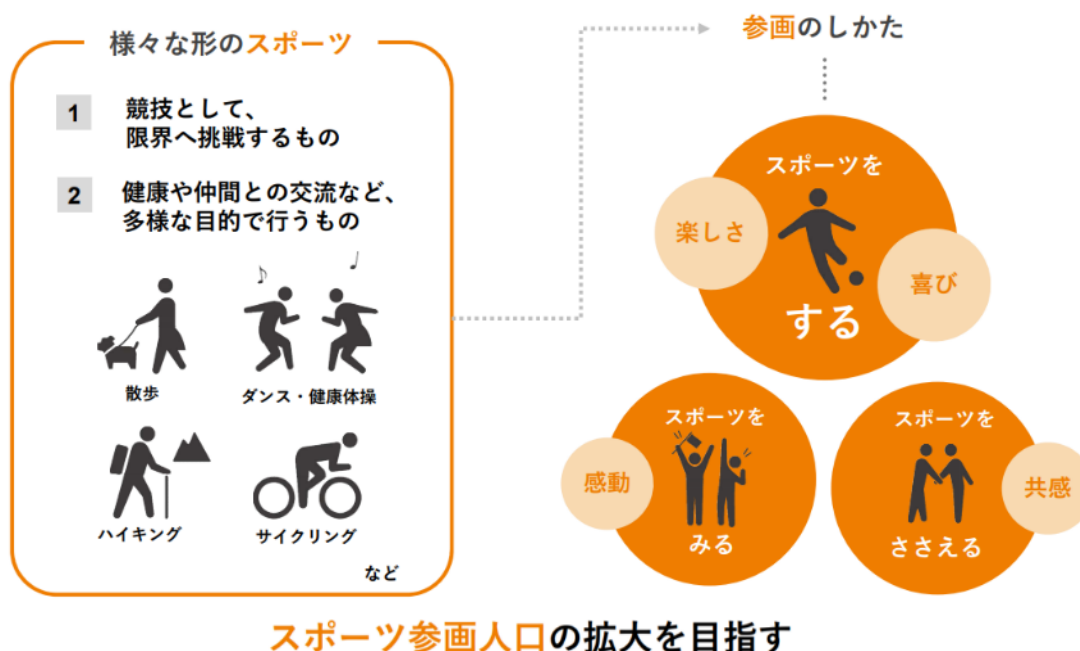
スポーツ基本法において、スポーツは、世界共通の人類の文化であるとされています。その上で、スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進等のために行われる身体活動であり、健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとされています。

さらに、スポーツは、他者を尊重する精神など人格の形成に大きな影響を及ぼし、地域の一体感や活力を醸成することから、地域社会の再生に寄与するものとされています。

また、スポーツはすべての人にとっての基本的人権の一つであり、同時にスポーツは相手の尊重、チームワーク、フェアプレー※4の精神を育てることを通して、差別をなくし、人権尊重の社会を促進する役割を持っています。

これらを踏まえ、本計画におけるスポーツの範囲は、一定のルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性のある身体運動だけに限定せず、健康増進を目的とする身体運動や、楽しみなどを目的としたウォーキング、ダンスなども含むこととし、スポーツを健康づくり、人づくり、地域づくりを目的とするさまざまな身体運動を含む本市の文化を創造する広い範囲で捉えることとします。

■ スポーツはみんなのもの（「第2期スポーツ基本計画」（国）資料より抜粋）



※4 フェアプレー：ルールの順守に留まらず、ルールの持つ精神を理解すること、チームメイトや審判、相手チーム、観衆などに敬意を払うこと、勝利に向かって全力でプレーすること、勝敗に関係なく恥ずかしくない態度で振舞うなど、スポーツを行う上で規範とする行動。

4 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法」に基づくとともに、「第五次太宰府市総合計画」をはじめとする関連計画との整合性を図り、太宰府市スポーツ推進審議会からの意見を十分に尊重して策定するものです。

また、国の「第2期スポーツ基本計画」（平成29年3月）と県の「福岡県スポーツ推進計画」（平成26年3月）（見直し（平成30年12月））を踏まえ、令和元年度に実施した「太宰府市運動・スポーツに関する意識調査」の調査結果を反映し、本市の持つ課題やニーズに即した施策の展開を目指し策定します。

■ 計画策定の流れ



第2章 基本構想

1 基本理念

市民の誰もが年齢に応じてスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくり・地域づくり、スポーツを支える人づくり・環境づくりを進める中で、スポーツによる交流の輪を広げ、歴史ある太宰府市スポーツ文化の創造を目指します。

太宰府市スポーツ文化の創造

2 基本目標

本計画の基本理念「太宰府市スポーツ文化の創造」を踏まえ、次の4つの目標を掲げ、施策を推進します。

【基本目標】

I スポーツを通じた健康づくり

子どもから高齢者までのライフステージにおいて、全ての市民が運動に親しみ、交流し仲間づくりを行う中で、心と体の健康づくりにつながるスポーツ振興を目指します。

II スポーツを支える人づくり

各種スポーツ初心者への指導、競技スポーツのレベルアップなどを担うスポーツ協会・スポーツ少年団等の活動の充実、スポーツ推進委員等の活動及び組織の強化、さらに競技スポーツの推進によって本市のスポーツを支える人づくりを目指します。

III スポーツを支える環境づくり

トップアスリート^{※5}によるスポーツ観戦の機会づくり、SNS^{※6}等を活用したスポーツ関連情報の充実、スポーツ施設の整備・活用等によりスポーツを支える環境づくりを目指します。

IV スポーツを通じた地域づくり

太宰府市の豊かな自然環境を活かし、さらに高等学校・大学等が多く立地する文教都市として、さまざまな資源を活かしたスポーツ活動を通じた地域づくりを目指します。

※5 トップアスリート：その競技で最高水準の実力を認められている運動選手のこと。

※6 SNS：(Social Network Service)人と人とのつながりを促進し、社会的なネットワークを提供するインターネットサービスのこと。

【基本目標のイメージ】



【太宰府市スポーツ文化の創造とは】

スポーツは、人間の体を動かすという本源的な欲求に應えらるとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びを与えるなど、人類の創造的な文化活動の一つです。(出典：文部科学省HP)

本市の文化の薫る歴史と文教都市としての性格を踏まえ、市民が健康づくり、人づくり、環境づくり、地域づくりに向けて取り組む中で、スポーツが市民の生活に根付き、本市の風土として創造されることを目指します。

【市民・行政・スポーツ関係団体の姿（役割）】

市民は、スポーツ文化の担い手として主体的に取り組みます。

行政は、スポーツ文化の創造を目指す本計画の施策を総合的に計画的に推進します。

スポーツ関係団体は、市民がスポーツに親しむ機会の提供、スポーツの普及及び競技水準の向上により、スポーツ文化を牽引します。

3 施策の体系

基本理念

基本目標

施策

太宰府市スポーツ文化の創造

基本目標Ⅰ

スポーツを通じた
健康づくり

基本施策① 子ども・青少年のスポーツの推進

- 施策 1-1 未就学児のからだを動かす機会づくり
- 施策 1-2 児童・生徒の体力向上、スポーツ活性化
- 施策 1-3 青少年のスポーツ推進

基本施策② 現役世代のスポーツの推進

- 施策 2-1 働き盛り・子育て世代へのスポーツ参加機会の拡充

基本施策③ 高齢者のスポーツの推進

- 施策 3-1 高齢者の健康づくりを目的とした教室等の開催

基本施策④ 障がい者のスポーツの推進

- 施策 4-1 障がい者のスポーツの推進

基本施策⑤ ライフステージを通じて行える運動の推進

- 施策 5-1 気軽に行える運動の推進

基本目標Ⅱ

スポーツを支える
人づくり

基本施策① スポーツ関連団体の活動の充実

- 施策 1-1 総合型地域スポーツクラブの充実
- 施策 1-2 スポーツ協会及びスポーツ少年団の体制強化等の支援
- 施策 1-3 初心者を対象とした競技スポーツイベントの開催
- 施策 1-4 県民体育大会参加者の支援
- 施策 1-5 スポーツ団体、学校、地域等の連携
- 施策 1-6 スポーツ行政の総合的連携

基本施策② スポーツを支える人材の育成・連携

- 施策 2-1 専門的な技能を持つスポーツ指導者の発掘と育成
- 施策 2-2 スポーツ推進委員の活動の支援
- 施策 2-3 スポーツボランティアの参画

基本目標Ⅲ

スポーツを支える
環境づくり

基本施策① トップアスリートとふれあう機会の創出

- 施策 1-1 質の高い「観る」スポーツの機会の提供
- 施策 1-2 レベルの高い競技者によるスポーツ教室等の開催

基本施策② スポーツの情報発信

- 施策 2-1 スポーツ関連情報の魅力発信

基本施策③ スポーツ施設整備・活用

- 施策 3-1 利用者の多様なニーズに応じた利用方法の検討
- 施策 3-2 公共スポーツ施設の計画的な改修等の推進

基本目標Ⅳ

スポーツを通じた
地域づくり

基本施策① 自然環境を活かしたスポーツの振興

- 施策 1-1 歩道等を活用したウォーキング等の促進

基本施策② 文教都市の資源を活かしたスポーツの振興

- 施策 2-1 高等学校・大学、民間スポーツ指導者等との連携
- 施策 2-2 大学・民間スポーツ施設開放の促進
- 施策 2-3 大学、国際交流団体を通じたスポーツイベントの推進

基本施策③ スポーツを通じた経済・地域の活性化

- 施策 3-1 太宰府スポーツツーリズムの推進
- 施策 3-2 スポーツによる地域コミュニティの活性化

4 本計画の指標

計画の達成状況を把握するために、4つの基本目標の基本施策に対応した数値目標を設定します。これらの「する」「みる」「ささえる」の施策の成果を総合的に把握するために、成果指標として市民全体のスポーツ実施率を設定します。

■数値目標と成果指標

基本目標	基本施策	指標	現状値 (R1)	目標値 (R7)	成果指標 (R7・R12)			
I	①	体力・運動能力テスト 平均値 (T-スコア)	小学生 (5年生) 男子 46.0 女子 46.6	▶	▶	スポーツ 実施率 (18歳以上) (R7) 55.0% (R12) 65.0% (現状値 R1:45.6%)		
		中学生 (2年生) 男子 52.2 女子 51.5	▶				▶	
	②	スポーツ実施率 (18～59歳)	男性	45.5%	▶		▶	55.0%
			女性	33.1%	▶		▶	50.0%
	③	スポーツ実施率 (60歳以上)	男性	55.9%	▶		▶	60.0%
			女性	54.4%	▶		▶	
④	障がい者スポーツイベントの 参加者数	83人	▶	▶	150人			
⑤	スポーツ・レクリエーションの イベント参加者数	507人	▶	▶	550人			
II	①	スポーツ関連団体の会員数	3,089人	▶	▶	3,200人		
	②	スポーツボランティア活動を行った 市民の割合	5.7%	▶	▶		8.0%	
III	①	トップアスリートを招致した イベント参加者数	798人	▶	▶	900人		
	②	運動・スポーツ情報を市のホーム ページ・SNSから取得した割合	10.3%	▶	▶	15.0%		
	③	市内スポーツ施設の年間利用者数	87.7万人	▶	▶	90万人		
IV	①	「歩こう会」登録者数及び 「歩かね太宰府」の市民参加者数	3,053人	▶	▶	3,200人		
	②	大学、国際交流団体を通じた スポーツイベントの開催数	3回	▶	▶	5回		
	③	スポーツの日の行事の参加者数	3,851人	▶	▶	4,000人		

第3章 基本目標ごとの施策

基本目標Ⅰ スポーツを通じた健康づくり

基本施策① 子ども・青少年のスポーツの推進

指 標		現状値 (R1)	目標値 (R7)
体力・運動能力テスト平均値 (T-スコア)	小学生 (5年生)	男子 46.0 女子 46.6	全国平均 (50.0) 以上 の継続
	中学生 (2年生)	男子 52.2 女子 51.5	全国平均 (50.0) 以上 の継続

資料：全国体力・運動能力テスト

▶施策 1-1 未就学児のからだを動かす機会づくり

子どもの体力低下が指摘される中、幼児期から小学校入学前にかけてからだをコントロールする力（調整力）の向上や、活動意欲、創造性、社会性を育むことが重要となっています。あそびを中心とした、からだを動かすことを楽しむイベントの開催や、子どもの健診機会を利用した親子で参加できるイベントの提供等により、地域における子どもがスポーツに接する機会の充実を図ります。

（主な取組）

- ・親子で楽しめるスポーツイベントの充実
- ・子育て支援センターとの連携

▶施策 1-2 児童・生徒の体力向上、スポーツ活性化

学習指導要領を踏まえ、全ての児童・生徒が、楽しく、安心して運動に取り組むことができ、運動が苦手な児童・生徒や運動に意欲的でない児童・生徒も含めて体力の向上を図ります。

小・中学校における「一校一取組」運動、定期的な体力測定データの活用等により、児童・生徒の体力を向上させる環境の充実を図ります。

また、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するために、小・中学校における体育、部活動等の活性化を図ります。

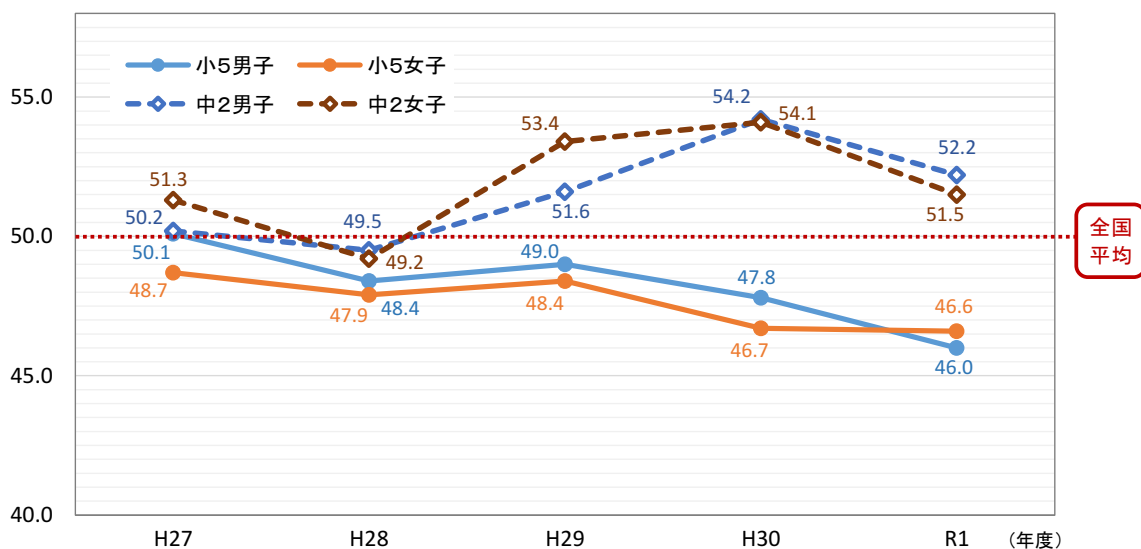
（主な取組）

- ・小・中学校の「一校一取組」運動の推進
- ・新体力テスト測定支援とデータの有効活用
- ・体育や体力向上、健康教育、部活動の充実を図るための外部指導者の活用

第3章 基本目標ごとの施策

基本目標Ⅰ スポーツを通じた健康づくり

■児童・生徒の体力・運動能力調査における総合平均値（Tスコア）



※Tスコア…全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位等が異なる調査結果を比較する指数であり、平均点50点、標準偏差10点の標準得点。

「Tスコア=50+10×（市調査結果-全国平均値）/標準偏差」

■小・中学校の「一校一取組」（令和元年度）

学校名	取組名
太宰府小学校	なわとびチャレンジ
太宰府東小学校	東っ子サーキットトレーニング
太宰府南小学校	南っ子パワーアップチャレンジ
水城小学校	つながりチャレンジタイム
水城西小学校	めざせ！外遊び100%！
太宰府西小学校	おにごっこタイム
国分小学校	国分っ子ジャンプアップタイム
学業院中学校	瞬発力+α運動
太宰府中学校	太中トレーニング～基礎体力の向上～
太宰府西中学校	日常的に運動を行い、健康的に過ごそう
太宰府東中学校	グーパージャンプ（太東ジャンプ）

■ 中学校における中体連種目別登録数

	H26年度			R1年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
総生徒数	-	-	-	1,209	1,013	2,222
入部率	-	-	-	73.7%	54.8%	65.1%
入部生徒数計	869	529	1,398	891	555	1,446
陸上競技	57	47	104	68	48	116
水泳競技	11	11	22	7	10	17
サッカー	203	0	203	194	8	202
体操競技	1	0	1	1	1	2
新体操	0	3	3	0	2	2
卓球	65	25	90	145	86	231
剣道	56	21	77	57	19	76
柔道	1	0	1	4	4	8
バレーボール	53	74	127	49	87	136
バスケット	89	76	165	113	86	199
軟式野球	178	0	178	153	3	156
ソフトテニス	115	145	260	77	120	197
バドミントン	5	72	77	7	53	60
ソフトボール	0	45	45	0	16	16
空手道	0	0	0	1	0	1
硬式テニス	35	10	45	15	12	27

※本市5中学校とは太宰府中、太宰府東中、太宰府西中、学院院中、筑陽学園中の5校を指す。

▶ 施策 1-3 青少年のスポーツ推進

高校生や学生、就業した成人前の市民等がスポーツを取り組めるように、市内にある学校や企業等に、市民競技団体の紹介や市民スポーツ大会の開催案内等を積極的に行います。

また、スポーツに親しむグループの相互の交流を促進するために、本市のSNS（フェイスブック等）の活用を促進します。

(主な取組)

- ・ 市内高等学校・大学等への市民競技団体の紹介や市民スポーツ大会の開催周知
- ・ スポーツグループ活動の太宰府市SNSの活用促進

基本施策② 現役世代のスポーツの推進

指 標		現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツ実施率（18～59歳）	男性	45.5%	55.0%
	女性	33.1%	50.0%

資料：まちづくり市民意識調査

▶ 施策 2-1 働き盛り・子育て世代へのスポーツ参加機会の拡充

スポーツ実施率の低い働き盛り・子育て世代に向けて、スポーツ・レクリエーションや体力測定などの事業を催し、企業などへの事業の参加を呼びかけます。

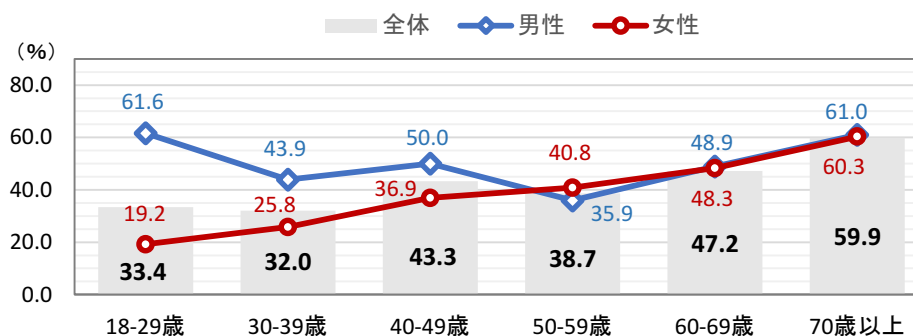
また、スポーツ実施率の低い女性に向けた無理なく体を動かせるプログラムを実施し、気軽にスポーツに参加できる機会を拡充します。

また、新型コロナウイルス感染防止対策に関連した「新しい生活様式」を考慮し、日常生活の中で取り組める運動プログラムの開発と普及に取り組みます。

（主な取組）

- ・ 職場での健康づくりに関する普及啓発の推進
- ・ 健康フェスタの開催と周知
- ・ 男女共同参画推進センターにおける健康講座の開催
- ・ 日常生活の中で取り組める運動プログラムの開発及び情報発信

■ スポーツ実施率（週に1回以上スポーツを行っている人）（年代別）



基本施策③ 高齢者のスポーツの推進

指 標		現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツ実施率（60歳以上）	男性	55.9%	60.0%
	女性	54.4%	

資料：まちづくり市民意識調査

▶ 施策 3-1 高齢者の健康づくりを目的とした教室等の開催

高齢者の介護予防や生きがい創出を目的に、気軽に行うことのできるスポーツプログラムの開発と普及を図ります。高齢者向けの基礎体力づくり教室や介護予防教室等を開催し、高齢者が健康で元気に暮らすことができるようにサポートします。

（主な取組）

- ・ 高齢者の基礎体力教室の実施
- ・ 介護予防普及啓発事業の推進

基本施策④ 障がい者のスポーツの推進

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
障がい者スポーツイベントの参加者数	83人	150人

資料：庁内資料

▶ 施策 4-1 障がい者のスポーツの推進

障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツの紹介やスポーツ教室の実施等により、障がい者のスポーツを推進します。

また、市内にある特別支援学校との連携を検討し、活動の機会を創出します。

（主な取組）

- ・ 関係団体との連携によるボッチャ^{※7}交流会の支援
- ・ 障がい者水泳教室の開催



◀ 太宰府障がい者ボッチャ大会
（とびうめアリーナ）

※7 ボッチャ：重度脳性まひもしくは同程度の四肢機能障がいがある人のために考案されたヨーロッパ発祥のスポーツで、老若男女、障がいのあるなしに関わらず全ての人と一緒に競い合えるスポーツ。赤と青のチームに分かれ、ジャックボール（白いボール）に、より多くのボールを近づけることを競い合う。

基本施策⑤ ライフステージを通じて行える運動の推進

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツ・レクリエーションのイベント参加者数	507人	550人

資料：庁内資料

▶施策 5-1 気軽に行える運動の推進

年齢や性別、体力に関係なく、ライフステージを通じて運動が行えるように、スポーツ・レクリエーションの用具を拡充し、教室・イベント等に活用します。また、気軽に参加できるラジオ体操の推進を図ります。

(主な取組)

- ・スポーツ・レクリエーション教室の開催・周知
- ・ラジオ体操の推進

■スポーツ・レクリエーションイベントと参加者数（令和元年度）

事業名	内容	参加者数 (人)
シニアスポーツ教室(前期)	60歳以上の方を対象に、グラウンドゴルフ、歴史探訪ウォーキング、軽体操、スポーツ体験などを行います。	21
シニアスポーツ教室(後期)		21
サマーナイトペタンク※8	子どもからお年寄りまでペタンクを楽しめます。夏の夜に、市内中学校にて開催しています。	190
ペタンクカーニバル	ペタンクを知ってもらうために行う大会です。	275



▲シニアスポーツ教室



▲サマーナイトペタンク

■ラジオ体操の開催状況

主催	開催場所	参加人数
歩こっ会	大宰府政庁跡、高雄公園、歴史スポーツ公園	260人
自治会	各公民館（通年事業として開催：大佐野台、ひまわり台、三条台、北谷、内山、国分、通古賀、都府楼）	
商工会	五条駅前	
主催者なし	JR都府楼南駅前広場、マルキョウ水城店	-

※8 ペタンク：高齢者から小学生まで簡単に楽しめ、木製のピュット（目標球）に金属製のボール（ポール）を投げ合って、相手より近づけることで得点を競うフランスが発祥のスポーツ。

基本目標Ⅱ スポーツを支える人づくり

基本施策① スポーツ関連団体の活動の充実

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツ関連団体の会員数	3,089人	3,200人

資料：庁内資料

▶施策 1-1 総合型地域スポーツクラブの充実

子どもから高齢者まで年齢、興味、関心、技術・技能レベルに応じて誰もが参加できる「総合型地域スポーツクラブ^{※9}」の充実、会員増加対策の推進を図ります。

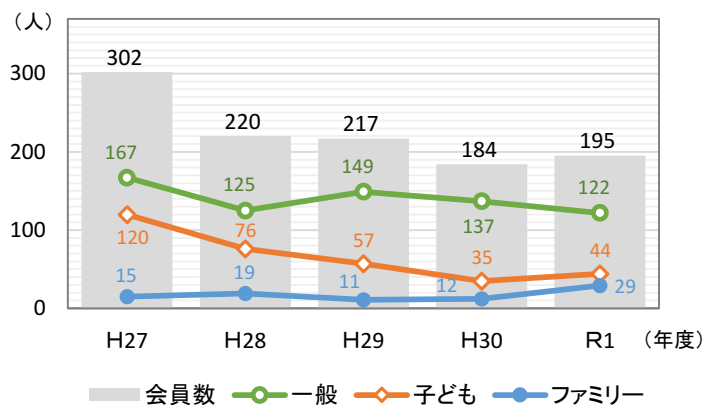
(主な取組)

- ・ 総合型地域スポーツクラブ「太宰府よか倶楽部」のPRと会員増加対策の推進
- ・ 組織運営のための新たな運営システムの検討

■太宰府よか倶楽部種目別会員数の推移

	(年度、人)				
	H27	H28	H29	H30	R1
硬式テニス	37	26	20	28	34
グラウンドゴルフ	25	23	29	25	25
ソフトボール	24	32	32	30	26
サッカー	100	50	37	20	19
ソフトバレーボール	24	19	10	12	14
卓球	66	62	73	52	47
空手	-	-	2	2	-
太極拳	17	-	14	15	15
野球	9	8	-	-	-
バドミントン	-	-	-	-	15
合計	302	220	217	184	195

■太宰府よか倶楽部会員数の推移



※9 総合型地域スポーツクラブ：人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持つ。地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブで、地域において、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしている。

▶施策 1-2 スポーツ協会及びスポーツ少年団の体制強化等の支援

日本スポーツ協会公認のスポーツ指導者の確保に努め、スポーツ教室や大会等の開催を通じて競技スポーツの普及振興を担う各競技団体・組織の支援を行います。また、スポーツ少年団育成体制の強化を図ります。

※「太宰府市体育協会」は、令和3年4月に「太宰府市スポーツ協会」へ団体名称変更

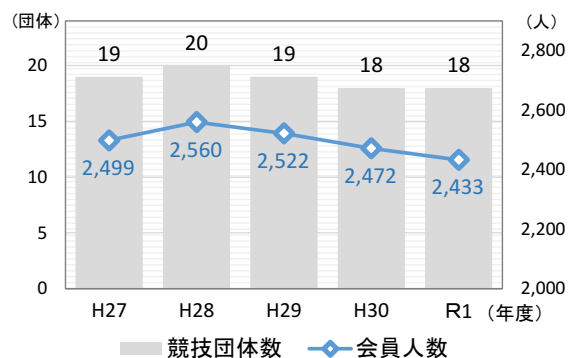
(主な取組)

- ・太宰府市スポーツ協会と太宰府市スポーツ少年団合同事業の検討
- ・スポーツ教室・大会等の事業開催と支援

■太宰府市スポーツ協会会員数と競技団体数の推移

(年度、人、団体)

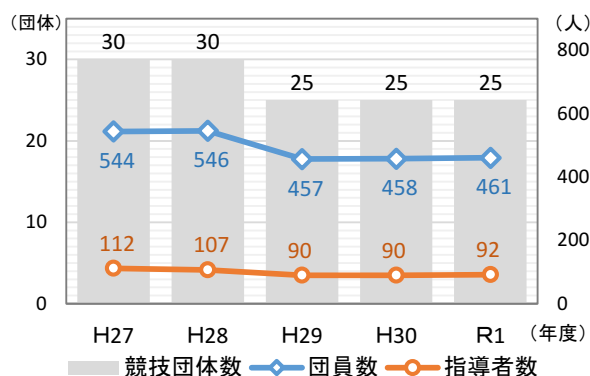
団体名	H27	H28	H29	H30	R1
1 太宰府市剣道連盟	175	213	185	195	189
2 太宰府少年武道会	54	52	57	45	51
3 太宰府市拳法協会	35	32	(退会)	-	-
4 太宰府市バドミントン協会	131	116	110	133	128
5 太宰府市相撲連盟	10	10	10	10	10
6 太宰府市社会人軟式野球連盟	272	275	275	275	278
7 太宰府市バレーボール協会	242	229	215	222	224
8 太宰府ソフトテニスクラブ	103	103	107	108	30
9 太宰府市卓球協会	203	200	198	196	124
10 太宰府市登山同好会	36	34	(退会)	-	-
11 太宰府飛梅弓友会	68	64	64	54	55
12 太宰府市ソフトボール連盟	596	550	510	510	558
13 太宰府市ゲートボール連合	25	27	24	21	(退会)
14 太宰府アスリートクラブ	51	55	52	(退会)	-
15 太宰府市サッカー協会	144	150	160	160	181
16 バウンドテニス協会(旧:同好会)	47	47	55	63	60
17 太宰府市グラウンドゴルフ協会	154	137	161	172	171
18 太宰府中学硬式野球連盟	48	49	44	33	26
19 太宰府市ラグビーフットボール協会	105	74	70	66	71
20 太宰府市バスケットボール協会	-	143	155	120	130
21 太宰府少年軟式野球連盟	-	-	70	89	82
22 テニス協会	-	-	-	-	65
会員人数計	2,499	2,560	2,522	2,472	2,433
競技団体数計	19	20	19	18	18



■太宰府市スポーツ少年団団員数等の推移

(年度、人、団体)

	H27	H28	H29	H30	R1
団員数(人)	544	546	457	458	461
指導者数(人)	112	107	90	90	92
競技別団体数(団体)					
剣道	5	5	5	5	5
柔道	1	1	1	1	1
ソフトボール	9	9	9	9	9
サッカー	4	4	4	4	4
軟式野球	3	3	3	3	3
ラグビー	1	1	1	1	1
バレーボール	6	6	5	5	5
バドミントン	1	1	1	1	1
計	30	30	25	25	25



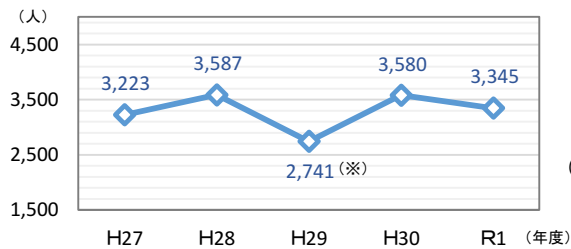
▶ **施策 1-3 初心者を対象とした競技スポーツイベントの開催**

各種競技スポーツの初心者教室や、体を動かすきっかけづくりのために複数の競技スポーツを体験できるイベント等を開催します。

(主な取組)

- ・ 初心者体験教室の開催と参加促進

■ 太宰府市スポーツ協会主催のスポーツイベント参加者数の推移



(※) 平成 29 年度は大雨、台風により参加者数減

■ 太宰府市スポーツ協会が実施している主なスポーツイベント (令和元年度)

事業名	競技種目・団体	日程	参加者数 (人)
【市民大会】			
市民グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ	6/8	137
市民ソフトボール大会	ソフトボール	9/29	500
太宰府市民バドミントン大会	バドミントン	10/27	214
市民テニス大会	テニス	10/27	20
太宰府市子ども相撲大会	相撲	10/27	53
市民卓球大会	卓球	11/17	176
太宰府市民バレーボール大会(女子)	バレーボール	11/24	120
市民バウンドテニス大会	バウンドテニス	12/8	30
太宰府市民バレーボール大会(男子)	バレーボール	12/15	86
計			1,336
【初心者教室】			
ラグビー体験教室	ラグビーフットボール	4/21	36
初心者弓道教室	弓道	5/24-6/21	23
初心者グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ	5/25	31
バウンドテニス体験教室	バウンドテニス	9/11-10/9	9
バスケットボール教室	バスケットボール	9/16	12
テニス教室	テニス	10/26	21
初心者バドミントン教室	バドミントン	1/16-3/5	11
計			143
【その他の普及事業】			
近郊レディース卓球大会	卓球	5/23	406
バドミントン親善大会	バドミントン	6/2	143
まほろばの里弓道大会	弓道	6/2	128
ラグビーフットボール交流戦	ラグビーフットボール	7/14	250
太宰府市サッカー大会(少年)	サッカー	8/3-4	180
バウンドテニス親善交流大会	バウンドテニス	8/4	48
剣道祭	剣道	8/18	86
弓道初心者歓迎射会	弓道	8/25	40
南部正司杯太宰府市バレーボール小学生大会	バレーボール	9/1	210
市民オープンテニス	テニス(硬式)	10/6	44
グラウンドゴルフ男女ペア大会	グラウンドゴルフ	10/22	80
ナガセケンコー杯ソフトテニス	ソフトテニス	11/10	46
太宰府カップバスケットボール	バスケットボール	12/21-22	115
ラグビーフットボール協会会長杯	ラグビーフットボール	2/16	90
市民バスケットボール大会	バスケットボール	3/1	(中止)
計			1,866
合計			3,345

▶**施策 1-4 県民体育大会参加者の支援**

県民体育大会に本市からも市民の代表が参加していますが、参加種目によっては参加層が固定化し、出場しない競技種目もあります。市民やスポーツクラブ等へPRを行い、参加競技数や参加者数、新たな参加層の拡大を図るとともに、参加者への支援を行います。

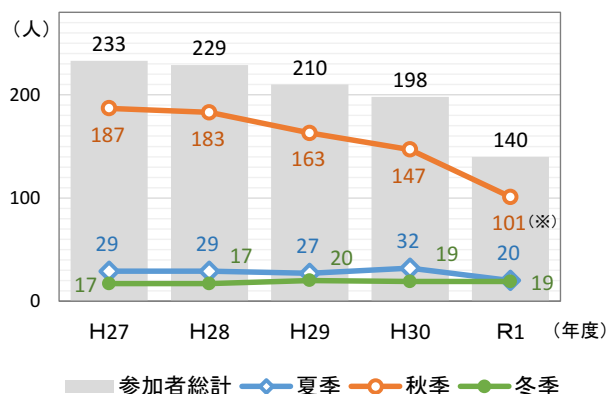
(主な取組)

- ・参加競技数及び参加者数の拡大のための啓発
- ・県民体育大会参加者への支援

■スポーツフェスタふくおか「県民体育大会」における参加者数の推移

(年度、人)

	H27	H28	H29	H30	R1
夏季大会 (8月開催)					
「水泳競技」小学生から大人まで約30人が毎年出場					
水泳	29	29	27	32	20
計	29	29	27	32	20
秋季大会 (9月開催)					
10競技23種目参加					
陸上	5	5	4	4	
バスケットボール	9	14	13	18	
バレーボール	60	45	30	25	51
ソフトテニス	18	18	18	18	
テニス	8	8	9	9	9
卓球	20	21	20	16	10
バドミントン	21	20	29	20	22
ソフトボール	18	18	17	18	
剣道	13	19	9	9	9
弓道	15	15	14	10	
計	187	183	163	147	101
冬季大会 (11月開催)					
スポーツの総合祭典としての市町村対抗「福岡駅伝」 (9区間、中学生男女2名、高校生・大学生・成人)					
駅伝	17	17	20	19	19
計	17	17	20	19	19
総計	233	229	210	198	140



(※)令和元年度は台風により参加者数減

▶施策 1-5 スポーツ団体、学校、地域等の連携

スポーツ活動の振興を図る団体間の連携をはじめ、学校運動部活動や民間スポーツ団体との連携を進めます。また、自治会内におけるスポーツ振興体制づくりを支援し、市全体でスポーツのネットワークづくりを推進します。

(主な取組)

- ・市内スポーツ団体間の情報交換及び協力体制の確立、連携強化
- ・市と校区自治協議会との連携による地域スポーツ事業の展開

▶施策 1-6 スポーツ行政の総合的連携

健康・福祉部門や子育て支援部門、生涯学習部門等と連携し、スポーツ行政の総合的な推進を図ります。

(主な取組)

- ・スポーツに関係する部門との連携・協働体制の強化

基本施策② スポーツを支える人材の育成・連携

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツボランティア活動を行った市民の割合	5.7%	8.0%

資料：太宰府市運動・スポーツに関する意識調査

▶施策 2-1 専門的な技能を持つスポーツ指導者の発掘と育成

市民や市内勤務者などから、質の高いスポーツの指導やレクリエーションの指導ができる人材を発掘し、育成を進めます。

(主な取組)

- ・ 専門的な技能を持つ指導経験者へのリーダーバンクへの登録促進
- ・ スポーツ指導者の講習会・研修会の開催

■日本スポーツ協会認定の指導者数（令和元年度）

	(人)	
	資格名	指導者数
競技別指導者資格	コーチ1	47
	コーチ2	1
	コーチ3	10
	コーチ4	2
	教師	1
	上級教師	0
フィットネス資格	スポーツプログラマー	0
	フィットネストレーナー	0
	ジュニアスポーツ指導員	0
メディカル・コンディショニング資格	アスレティックトレーナー	0
	スポーツドクター	0
マネジメント資格	アシスタントマネージャー	0
	クラブマネージャー	0
計		61

■競技別スポーツ指導者資格者

(人)	
競技別	指導者数
水泳	10
バレーボール	18
ハンドボール	1
剣道	2
テニス	4
ソフトテニス	2
セーリング	1
ソフトボール	6
弓道	4
ラグビーフットボール	7
ライフル射撃	1
卓球	1
その他	4
計	61

資料：福岡県スポーツ協会資料

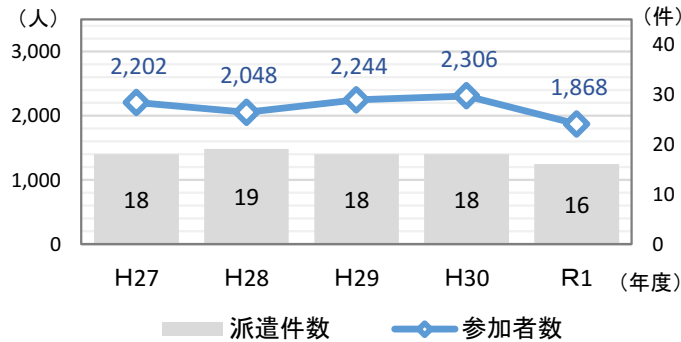
▶施策 2-2 スポーツ推進委員の活動の支援

スポーツ推進委員の自主研究や研究大会への参加、イベント・地域派遣事業等の活動を支援します。

(主な取組)

- ・研修によるスポーツ推進委員の資質の向上

■スポーツ推進委員派遣件数と派遣事業の参加者数の推移



▶施策 2-3 スポーツボランティアの参画

市内の中学校・高等学校・大学と連携し、意欲ある学生のスポーツボランティア^{※10}としての参加の機会を提供します。

(主な取組)

- ・市内学生のスポーツボランティアの参加の機会創出
- ・体力測定を支援するボランティアの充実

※10 スポーツボランティア：地域におけるスポーツクラブやスポーツ団体において、報酬を目的としないで、クラブ・団体の運営や指導活動を日常的に支えたり、また、国際競技大会や地域スポーツ大会などにおいて、専門的能力や時間などを進んで提供し、大会の運営を支える人のこと。

基本目標Ⅲ スポーツを支える環境づくり

基本施策① トップアスリートとふれあう機会の創出

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
トップアスリートを招致したイベント参加者数	798人	900人

資料：庁内資料

▶施策 1-1 質の高い「観る」スポーツの機会の提供

トップアスリートの質の高いスポーツを観る機会をつくることで、市民に夢や感動を体験する機会を設け、スポーツ人口の拡大を図ります。

(主な取組)

- ・ トップアスリートを招致した観戦イベント等の実施

■ トップアスリートを招致した観戦イベント

年度	イベント名	団体
R1	史跡のまちのスポーツ体験 「太宰府ば元気にするばい！九州プロレス太宰府大会」	NPO法人九州プロレス
H30	はつらつママさんバレーボールin太宰府	オリンピック等の出場経験者 からなるドリームチーム（12名）
H28	Bリーグ3部 プロバスケットボール公式戦 (ライジングゼファークオカvsアイシンAW)	ライジングゼファークオカ アイシンAW

▶施策 1-2 レベルの高い競技者によるスポーツ教室等の開催

レベルの高い競技者・指導者によるスポーツ教室、競技会等の開催により、高度な技術の習得や意識のレベルアップを図ります。

(主な取組)

- ・ トップアスリートによるスポーツ教室や競技会の開催



▲内村航平さんを招致したスポーツフェスタ

■ トップアスリートを招致したスポーツ教室や競技会

年度	イベント名	出演者・講師
R1	とびうめアリーナ3周年記念事業 スポーツフェスタ2019浜口京子さんの体操教室	オリンピックメダリスト 浜口京子さん
	トップアスリートから学ぶ！ 畠山愛里さんの新体操教室	オリンピック出場 畠山愛里さん
	リオデジャネイロオリンピック フリーリレー4×200銅メダリスト 江原騎士さん 水泳教室	オリンピックメダリスト 江原騎士さん
H30	元日本代表ラグビーワールドカップ2007出場大西将太郎さん ラグビー教室&トークショー	元日本代表 大西将太郎さん
	とびうめアリーナ開館2周年記念 スポーツフェスタ記念トークショー	オリンピックメダリスト 野口みづきさん
	2004アテネオリンピック女子マラソン金メダリスト野口みづきさん ランニング教室	
	オリンピックから学ぶ！ 畠山愛里さん「新体操教室」！！	オリンピック出場 畠山愛里さん
	リオデジャネイロオリンピック フリーリレー4×200銅メダリスト 江原騎士さん 水泳教室	オリンピックメダリスト 江原騎士さん
H29	オリンピックふれあい教室&大人のランニング教室	オリンピック出場 中村友梨香さん
	とびうめアリーナ開館1周年記念スポーツフェスタ	オリンピックメダリスト 内村航平さん
	シドニーオリンピック出場萩原智子さん 水泳教室	オリンピック出場 萩原智子さん
	史跡のまちのスポーツ体験「小学生野球教室」	元読売巨人軍 杉内俊哉さん
H28	オリンピック中村友梨佳さんによるランニング教室	オリンピック出場 中村友梨佳さん
	アテネ2004オリンピック競技大会出場大山加奈さん バレーボール教室	オリンピック出場 大山加奈さん・南克幸さん
	オリンピックメダリスト中西悠子さん 水泳教室	オリンピックメダリスト 中西悠子さん
	オリンピックメダリスト鈴木聡美さん 水泳教室	オリンピックメダリスト 鈴木聡美さん

基本施策② スポーツの情報発信

▶施策 2-1 スポーツ関連情報の魅力発信

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
運動・スポーツ情報を市のホームページ・SNS から取得した割合	10.3%	15.0%

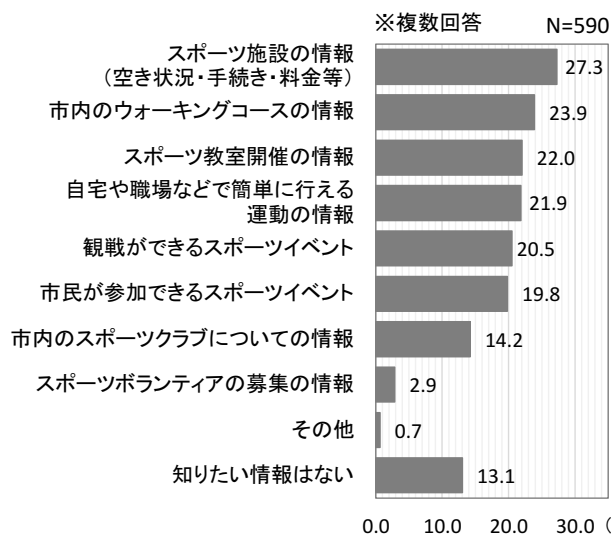
資料：太宰府市運動・スポーツに関する意識調査

市民がスポーツ情報をわかりやすく手軽に入手できるよう、広報紙やホームページなど様々な媒体を活用してスポーツ関連情報を提供し、市民への効果的な周知を図ります。また、パブリックビューイング^{※11}や全国大会出場選手の市長表敬訪問などを行い、市のスポーツ振興に貢献したプレイヤー等の情報発信を行います。

(主な取組)

- ・ SNS等を活用した速報性の高い情報発信の推進
- ・ 全国大会出場の際のパブリックビューイングの開催や市長表敬訪問による情報発信

■知りたいと思うスポーツに関する情報



資料：太宰府市運動・スポーツに関する意識調査(R1)



▲パブリックビューイングの開催 (市役所ロビー)



▲市長表敬訪問 (筑陽学園野球部)

※11 パブリックビューイング：スタジアムや公園・広場の特設会場などに設置された大型スクリーンで、別の会場で行われているスポーツの試合を観戦すること。

基本施策③ スポーツ施設整備・活用

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
市内スポーツ施設の年間利用者数	87.7万人	90万人

資料：庁内資料

▶施策 3-1 利用者の多様なニーズに応じた利用方法の検討

利用の集中や空きが生じないように、効率的な利用の促進を図ります。また、働いている人も利用できるなど、利用者の多様なニーズに応じた利用区分、利用時間等を検討し、見直します。

(主な取組)

- ・利用者のニーズに応じたスポーツ施設の利用区分、利用時間等の見直し
- ・インターネットを活用した予約システムの利便性の向上

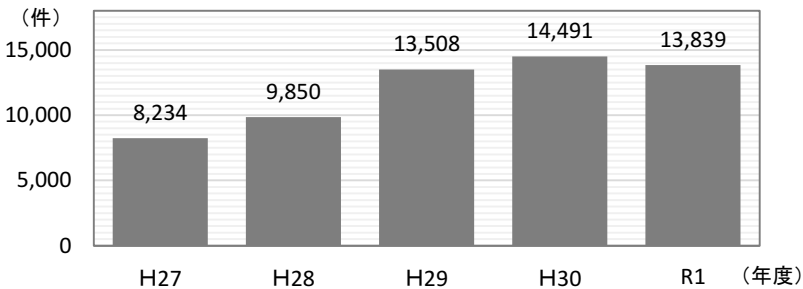
■市内スポーツ施設の利用者数

(年度、人)

	H27	H28	H29	H30	R1	
1 北谷運動公園	33,831	37,978	33,426	30,109	31,146	
2 太宰府歴史スポーツ公園	38,407	39,608	38,131	34,017	36,932	
3 体育センター	51,984	52,998	46,375	48,314	39,838	
4 太宰府市総合体育館 (とびうめアリーナ) (※)	-	41,356	146,601	172,898	174,913	
5 太宰府史跡水辺公園	(プール)	138,438	146,879	151,375	152,151	118,912
		(その他)	18,571	17,647	18,197	19,946
6 太宰府少年スポーツ公園	5,999	5,770	6,053	5,730	5,384	
7 大佐野スポーツ公園	24,598	33,693	31,612	27,501	43,384	
8 南体育館	19,906	21,509	19,524	18,204	15,371	
9 松川運動公園	35,407	42,916	31,968	36,745	37,717	
10 梅林アスレチックスポーツ公園	22,178	19,366	22,401	20,554	37,714	
計	389,319	459,720	545,663	566,169	557,794	
学校 開放	体育館	205,679	200,069	191,921	185,479	186,361
	グラウンド	104,929	129,904	108,281	93,152	111,609
	武道場	19,694	14,598	12,554	12,821	11,018
	テニスコート	14,443	16,555	13,993	13,189	9,865
	計	344,745	361,126	326,749	304,641	318,853
総 計	734,064	820,846	872,412	870,810	876,647	

(※)太宰府市総合体育館(とびうめアリーナ): H28.11開館

■市内スポーツ施設の予約システム利用件数の推移



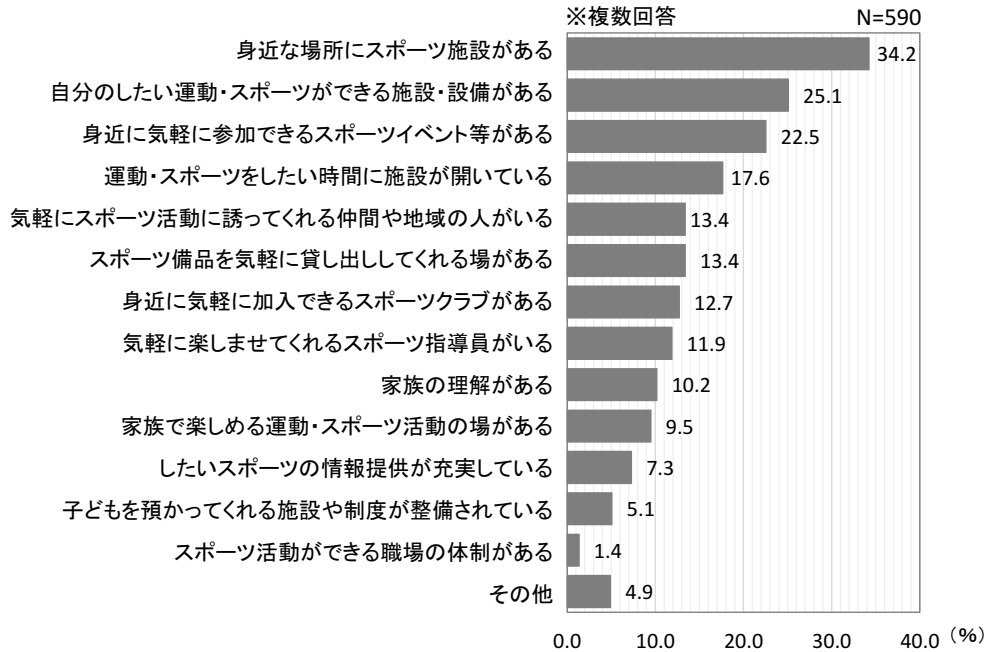
第3章 基本目標ごとの施策

基本目標Ⅲ スポーツを支える環境づくり

■市内スポーツ施設の位置図（令和2年度現在）



■運動するための条件



資料:太宰府市運動・スポーツに関する意識調査(令和元年度)

▶施策 3-2 公共スポーツ施設の計画的な改修等の推進

老朽化が進み、改修や補修が必要な社会体育施設について、利用者の安全確保と快適な利用を目的に計画的な整備を行います。

(主な取組)

- ・社会体育施設の計画的な改修・更新

■市内スポーツ施設の設置年月

施設名	開設及び開園
体育センター	S52.4
北谷運動公園	S56.6
南体育館	S56.10
太宰府歴史スポーツ公園	H1.4
太宰府史跡水辺公園	H4.7
太宰府少年スポーツ公園	H7.4
梅林アスレチックスポーツ公園	H7.4
大佐野スポーツ公園	H10.4
松川運動公園	H25.10
太宰府市総合体育館 (とびうめアリーナ)	H28.11

基本目標Ⅳ スポーツを通じた地域づくり

基本施策① 自然環境を活かしたスポーツの振興

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
「歩こう会」登録者数及び 「歩かんね太宰府」の市民参加者数	3,053 人	3,200 人

資料：庁内資料

※「スポーツの振興」は、スポーツが盛んになり、活動が豊かになることを意味しています。

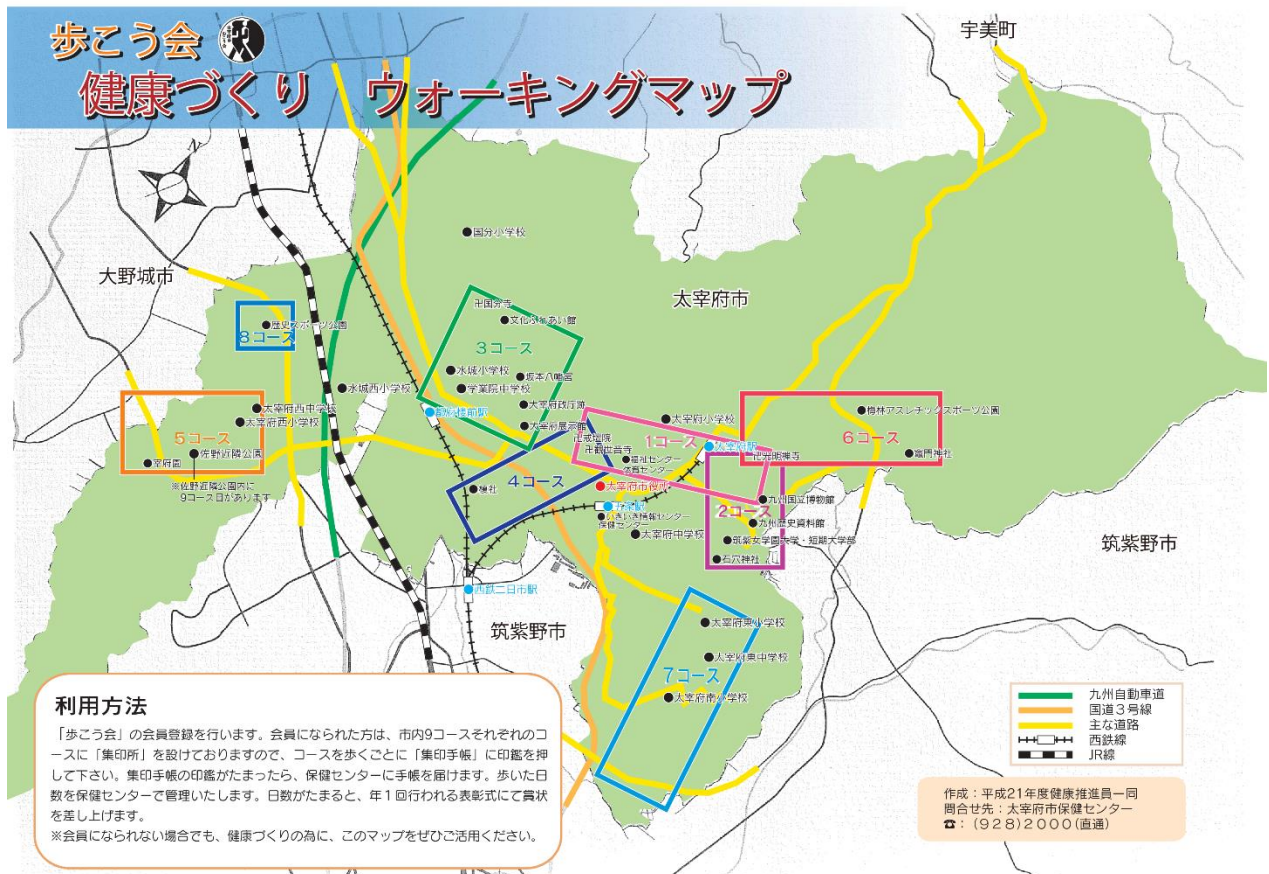
▶施策 1-1 歩道等を活用したウォーキング等の促進

市民のスポーツ活動で人気のウォーキングやジョギングを安全かつ楽しく実施できるよう、歩こう会の「健康づくりウォーキングマップ」や太宰府市の歴史を歩きながら学べる「歴史の散歩道」などのコースが整備されています。これらのウォーキングやジョギングコースを周知し、更なる利用促進に向けて地域の取組の推進を図ります。

(主な取組)

- ・ウォーキング・ジョギングコースの周知拡充
- ・まち歩きイベントの推進

■ 歩こう会「健康づくりウォーキングマップ」(市内8コース)



基本施策② 文教都市の資源を活かしたスポーツの振興

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
大学、国際交流団体を通じたスポーツイベントの開催数	3回	5回

資料：庁内資料

▶施策 2-1 高等学校・大学、民間スポーツ指導者等との連携

市内の高等学校・大学や民間のスポーツクラブ等と連携し、コーチング技術の習得や競技スポーツ指導者の確保・育成に取り組み、地域の競技力の強化を図ります。

また、民間企業と連携し熱中症対策を推進します。

(主な取組)

- ・市内の知的資源を活用したコーチング技術や競技スポーツ指導者の確保・育成
- ・民間企業と連携した熱中症対策の推進

▶施策 2-2 大学・民間スポーツ施設開放の促進

市の事業及び市民への開放施設の拡大を図るため、市内の大学及び民間企業等が所有するスポーツ施設の開放についての働きかけを行います。

(主な取組)

- ・民間プールを活用した水泳授業
- ・施設開放促進と施設開放の課題改善

■市内の大学と主な民間スポーツクラブ

区分	名称	区分	名称
大学	九州情報大学	民間スポーツクラブ (学校水泳事業委託施設)	ブリヂストンスイミングスクール太宰府
	筑紫女学園大学		太宰府スイミングクラブ
	日本経済大学		(R2.9 時点)
短期大学	福岡こども短期大学		
	福岡女子短期大学		

▶施策 2-3 大学、国際交流団体を通じたスポーツイベントの推進

市内の大学や国際交流団体と連携し、留学生と市民との交流イベント等を開催し、交流を図ります。

(主な取組)

- ・スポーツイベントにおける留学生参加の積極的な呼びかけ

基本施策③ スポーツを通じた経済・地域の活性化

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
スポーツの日の行事の参加者数	3,851人	4,000人

資料：庁内資料

▶施策 3-1 太宰府スポーツツーリズムの推進

本市は、歴史・自然環境等の資源とスポーツを融合したスポーツツーリズムの可能性を有しています。スポーツツーリズムは、スポーツの参加や観戦を目的とした地域の訪問や、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイルのことです。本市の観光地としての知名度・優位性を活かし、観光振興と連携した事業を検討・実施します。

(主な取組)

- ・スポーツと観光が連携した事業の検討・実施
- ・コロナ減観光ルートを活用

▶施策 3-2 スポーツによる地域コミュニティの活性化

校区自治協議会及び自治会と連携して、スポーツの日の行事等の地域のスポーツイベントを支援し、スポーツを通じて地域の一体感の醸成と非常時に支え合える地域コミュニティの活性化を促進します。

(主な取組)

- ・地域のスポーツイベントの支援

■地域のスポーツイベントと参加者数（令和元年度）

事業名	内容	参加者数 (人)
スポーツの日の行事	市内6会場で行われるスポーツレクリエーション	3,851



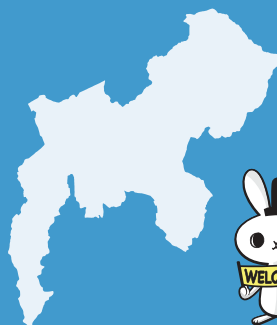
▲スポーツの日の行事

太宰府市スポーツ推進計画

2021-2030

令和3年3月

発行：太宰府市教育委員会



♂
実は、令和発祥の都
太宰府市の形です！



太宰府市
スポーツ推進計画
2021 - 2030